ふみびと

第３２４号
発行所
文通村事務局
編集　広報部
千葉県成田市

巡り来る季節と思い

伝わる丁寧さ

関東は梅雨真っ最中、雨が続くと梅雨明けはまだかと心待ちしてしまう今日この頃です。

ふとカレンダーを見ると、今でも鮮明に思い出すことがあります。

大学に入学して初めてアルバイトをし始めたのが、ちょうどこの頃。飲食店で始めたアルバイトは、今まで働いたことのなかった私にとって、とても新鮮なもので、皿洗いや調理、そして接客と毎日目が回るような忙しさの中で、先輩に怒られ、お客様に急かされ、落ち込んだりしながらも、今まで感じたことのなかったような充実感を初めて知ることのできた瞬間。そんな二度とできない貴重な体験ができた思い出深い季節です。

皆さんは初めて仕事をしたときのことを覚えているでしょうか。

「初心を忘れずに」

いつもそう思っていながらも、いつの間にか良くも悪くも慣れてしまっている自分に時々気付かされます。

先日、近くのコンビニに買い物に行くと、外国からの留学生と思われる店員の方がレジを打っていました。

日本語もまだ完璧とは言えず、レジの操作もきっと苦労していると思うのですが、そんなことは微塵も感じさせず、弾けるような笑顔に、元気な声、そして誰よりも丁寧なお辞儀で接客をされていました。

そんな姿を見て、今まで以上に一つ一つの仕事やものごとに丁寧に接していきたいな、と初心を思い出させてもらいました。

仕事で大切なことを改めて教えてくれた一人の尊敬すべき青年。

今度は自分がそれを伝えられるような仕事をしていきたいものです。

毎日を新しく

梅雨の時期、理由もなく気が晴れないことが多い。鬱々とした天気に引きずられるように気怠い気持ちになってしまう。「傘を新調して雨の日を楽しみに」なんていうのも、毎年試してみるわけにもいかない。一年前に買ったものが、まだ十分に使えるのだ。

そこで、今年は「毎日新しいことをする」ことにチャレンジすることにした。新しいメニューに挑戦してみたり、新しい本を手に取ってみたり。毎日というと難しく思えるかもしれないが、どんなささいなことでもいいことにしている。全く無意味に思えることでもいい。

先日は、夜になって何もしていないことに気がついて、左手で歯磨きをしてみた。「やっぱり磨きにくい」ことくらいしか発見はなかったけれど、「何か新しいこと」と考えること自体が、わずかでも生活に彩を添えてくれている気がしている。

風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。

誰に届くかは風次第…。送り方は簡単♪下の風船便切手を切り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだけです。あとは、事務局宛の返信用封筒に同封下さい。今までにない交流の始まりです。

お知らせ

★７月の発送日

７月の発送日は通常通り10日、24日の予定です。送りたいお手紙がある場合には3日前（7日、21日）までに事務局に到着することをお近くの郵便局で確認の上ポストに投函してください。

言葉の冊子

「言葉の冊子」第二弾を近日中に開催したいと思います。前回好評だった「お気に入りの○○」以外にも皆さんに聞きたいお題がありましたら、事務局までお気軽にお知らせください。

文通村 ～ふみびとの絆～